



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL http://www.srt.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 西村 哲 (TEL) 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,781	0.2	150	△0.2	92	△10.6	31	—
24年3月期第2四半期	7,768	△0.7	150	△47.6	103	△61.5	△710	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △61百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △717百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.20	—
24年3月期第2四半期	△118.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	21,904	6,982	31.4	1,145.95
24年3月期	18,860	7,118	37.2	1,167.92

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 6,879百万円 24年3月期 7,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.25	—	12.25	24.50
25年3月期	—	12.25			
25年3月期(予想)			—	12.25	24.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,720	9.0	510	41.0	290	57.2	120	—	19.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	6,006,373株	24年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,446株	24年3月期	3,446株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	6,002,927株	24年3月期2Q	6,003,055株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済状況は、東日本大震災後の復興需要や個人消費の増加により、緩やかな回復基調であったものの、欧州債務問題の長期化や中国経済の景気減速、エコカー減税終了による生産及び個人消費への影響等、依然先行きは不透明な状況にあります。

物流業界におきましては、国内貨物は緩やかながら増加傾向にあるものの、国際貨物は円高の継続に加え、中国経済減速等の影響を受け、輸出が落ち込み、引続き厳しい状況となりました。

このような事業環境の中、当社は、外部環境要因による主要顧客の生産減少の影響を受けたものの、医療機器関連等を中心とした3PL分野及び国内貨物の取扱額が増加し、売上高は概ね前年同期と同水準で推移いたしました。

また、一般管理費の削減や積極的な営業活動による倉庫の稼働率向上に努め、営業利益は前年同期並みとなりました。引き続き倉庫の効率的運用をはじめ、資源の有効活用を推し進め、更なる売上の増加及び経費削減に努めてまいります。

一方、国内連結子会社におきましては、経費削減に努めたものの、主要顧客の生産減少の影響が大きく、売上高、利益とも大幅に減少いたしました。中国連結子会社におきましては、主要顧客の東日本大震災及びタイの洪水被害の影響による生産減少は回復しつつあるものの、新規事業の顧客獲得に係る先行投資等により、利益の大幅改善には至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高77億81百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益1億50百万円(前年同期比0.2%減)、経常利益92百万円(前年同期比10.6%減)、四半期純利益31百万円(前年同期は四半期純損失7億10百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

国際物流分野における海上貨物及びその他貨物の取扱額が増加したものの、医療機器関連の3PL分野における輸出貨物の取扱額、及び無線通信機器、移動体通信機器の取扱額は大幅に減少いたしました。

国内外の連結子会社におきましては、主要顧客の生産が大幅に減少したことや、新規事業の顧客獲得に係る先行投資等が売上高及び利益に影響いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高57億4百万円(前年同期比0.1%増)、セグメント利益3億66百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

② 運輸事業部門

医療機器関連の3PL分野における国内貨物の取扱額が大幅に増加したことに加え、無線通信機器の取扱額が増加いたしました。しかしながら、国際物流分野における海上貨物及び移動体通信機器の取扱額は減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高12億34百万円(前年同期比2.1%増)、セグメント利益47百万円(前年同期比21.2%増)となりました。

③ 倉庫事業部門

国際物流分野における海上貨物、医療機器関連の3PL分野の取扱額が堅調に推移いたしました。

国際物流分野の航空貨物におきましては、取扱額が減少したものの、新規顧客の獲得及び効率的運用に努め、収益性が改善しつつあります。

この結果、当該部門の業績は、売上高6億33百万円(前年同期比2.9%減)、セグメント利益9百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)59百万円)となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

売上高は概ね前年同期と同水準で推移いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高2億8百万円(前年同期比0.0%減)、セグメント利益1億23百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産219億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億43百万円の増加となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、63億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億66百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加7億83百万円、受取手形及び売掛金の減少2億82百万円等によるものであります。

固定資産につきましては、155億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億77百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少91百万円、リース資産の減少1億8百万円、建設仮勘定の増加29億16百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の減少32百万円によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、149億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億79百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、38億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少64百万円、短期借入金の増加62百万円、未払法人税等の増加29百万円及び賞与引当金の増加13百万円によるものであります。

固定負債につきましては、110億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億31百万円増加いたしました。これは主に、社債の減少56百万円、長期借入金の増加31億64百万円、リース債務の減少1億円及び金利スワップの増加1億18百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、69億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少42百万円、その他有価証券評価差額金の減少25百万円及び繰延ヘッジ損益の減少76百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.2%から31.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期の連結業績予想につきましては、最近の経済状況及びこれまでの業績等を勘案し、前回(平成24年5月11日)発表の業績予想を修正しております。詳細は、平成24年10月22日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,634,758	2,418,574
受取手形及び売掛金	3,668,123	3,385,887
商品及び製品	49,280	58,440
原材料及び貯蔵品	116,397	106,354
繰延税金資産	260,218	273,967
その他	254,444	105,617
貸倒引当金	△2,100	△1,700
流動資産合計	5,981,123	6,347,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,738,576	5,647,070
機械装置及び運搬具(純額)	96,608	100,520
土地	1,046,050	1,046,050
リース資産(純額)	2,836,193	2,728,008
建設仮勘定	972,000	3,888,000
その他(純額)	42,718	45,167
有形固定資産合計	10,732,147	13,454,816
無形固定資産		
リース資産	1,872	1,383
ソフトウェア	158,508	147,143
その他	6,677	21,701
無形固定資産合計	167,058	170,228
投資その他の資産		
投資有価証券	299,968	267,834
繰延税金資産	831,804	819,507
その他	849,047	845,051
貸倒引当金	△296	—
投資その他の資産合計	1,980,523	1,932,393
固定資産合計	12,879,729	15,557,438
資産合計	18,860,853	21,904,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,148,615	1,084,306
短期借入金	1,553,423	1,616,028
1年内償還予定の社債	112,000	112,000
リース債務	199,320	200,294
未払法人税等	—	29,106
賞与引当金	149,334	162,807
その他	674,018	679,700
流動負債合計	3,836,712	3,884,242
固定負債		
社債	443,000	387,000
長期借入金	2,807,855	5,972,674
リース債務	2,691,003	2,590,369
退職給付引当金	537,826	550,246
資産除去債務	380,244	384,243
長期預り金	973,999	962,896
金利スワップ	71,936	190,259
固定負債合計	7,905,866	11,037,689
負債合計	11,742,578	14,921,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	2,271,118	2,228,827
自己株式	△2,954	△2,954
株主資本合計	7,233,158	7,190,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,260	24,008
繰延ヘッジ損益	△46,471	△122,907
為替換算調整勘定	△224,999	△212,937
その他の包括利益累計額合計	△222,210	△311,836
少数株主持分	107,327	103,615
純資産合計	7,118,275	6,982,646
負債純資産合計	18,860,853	21,904,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,768,202	7,781,341
売上原価	6,524,404	6,503,428
売上総利益	1,243,798	1,277,913
販売費及び一般管理費		
販売費	561,238	570,408
一般管理費	532,010	557,277
販売費及び一般管理費合計	1,093,249	1,127,686
営業利益	150,548	150,227
営業外収益		
受取利息	3,209	3,933
受取配当金	3,393	3,118
受取保険金	3,927	3,820
法人税等還付加算金	—	4,012
雑収入	4,700	3,471
営業外収益合計	15,231	18,356
営業外費用		
支払利息	59,254	66,314
為替差損	2,634	3,699
支払手数料	—	5,742
雑損失	0	0
営業外費用合計	61,889	75,755
経常利益	103,890	92,829
特別損失		
投資有価証券評価損	6,837	3,839
減損損失	655,598	—
特別損失合計	662,435	3,839
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△558,545	88,990
法人税、住民税及び事業税	30,473	12,230
法人税等調整額	119,532	46,177
法人税等合計	150,005	58,407
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△708,550	30,582
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,379	△663
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△710,929	31,245

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△708,550	30,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	605	△27,401
繰延ヘッジ損益	—	△76,436
為替換算調整勘定	△9,652	12,062
その他の包括利益合計	△9,047	△91,774
四半期包括利益	△717,598	△61,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△720,546	△58,380
少数株主に係る四半期包括利益	2,947	△2,812

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,697,065	1,209,267	653,023	208,846	7,768,202	7,768,202
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	527	—	—	527	527
計	5,697,065	1,209,794	653,023	208,846	7,768,729	7,768,729
セグメント利益又はセグメント損失(△)	444,914	39,470	△59,500	112,590	537,475	537,475

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	537,475
セグメント間取引消去	14,832
全社費用(注)	△401,758
四半期連結損益計算書の営業利益	150,548

(注) 全社費用は、主に当社及び連結子会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間において、建物解体により、当該建物及び構築物等の使用範囲について回収可能価額を著しく低下させる変化が生じた資産グループについて、当該減少額及び解体工事費用を減損損失として、特別損失に計上いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別減損損失の金額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント					全社	合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計		
減損損失	457	—	655,140	—	655,598	—	655,598

(注) 倉庫事業につきましては、解体工事費用69,000千円を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,704,017	1,234,652	633,913	208,759	7,781,341	7,781,341
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	103	—	—	103	103
計	5,704,017	1,234,755	633,913	208,759	7,781,444	7,781,444
セグメント利益	366,355	47,821	9,441	123,178	546,796	546,796

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	546,796
セグメント間取引消去	14,832
全社費用(注)	△411,400
四半期連結損益計算書の営業利益	150,227

(注) 全社費用は、主に当社及び連結子会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。